

特定保守管理医療機器 「ルーティー560・エミー560」の付属品  
スケーリングチップ

**【警告】**

- \* 1. 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。[感染予防のため]

**【禁忌・禁止】**

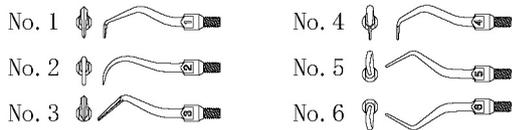
- \* 1. 刃部のあるスケーリングチップ(No.2 など)を歯肉縁下など軟組織に接触する部位で使用しないこと。[軟組織を損傷する恐れがある]

**【形状・構造及び原理等】**

**体に接触する部分の組成**

- ・ステンレス鋼  
スケーリングチップ
- ・チタン(表面のみ)  
スケーリングチップ(チタンコーティング仕様)

**形状**



スケーリングチップ：銀色(チタンコーティング仕様：金色)

**【使用目的又は効果】**

**使用目的**

本製品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯面などに付着した歯石および歯垢の除去、根管の拡大形成、歯の切削、歯周組織などの洗浄などを行うために使用する。本付属品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯面などに付着した歯石および歯垢の除去を行うために使用する。

**【使用方法等】**

詳細については、適応機種付属の取扱説明書を参照し、その内容に従うこと。

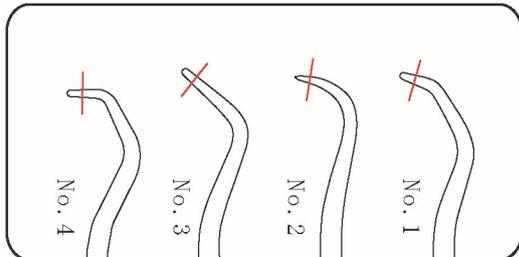
**適応機種**

- ・ルーティー560(認証番号：20700BZZ00045000)
- ・エミー560(認証番号：20700BZZ00044000)

**使用方法**

**1. スケーリングチップの交換**

- 適応機種付属の取扱説明書に従って、スケーリングチップを取り外す。
- 適応機種付属の「ルーティー・エミー用チップ消耗ガイド」または、下図を用いて、スケーリングチップの消耗具合を確認する。下図の場合、スケーリングチップを図の型に合わせ、先端が赤い線の手前にある場合、交換時期となる。



- スケーリングチップが交換時期であると判断できた場合、適応機種付属の取扱説明書に従って、新しいスケーリングチップを取り付ける。取り外したスケーリングチップの廃棄については適応機種付属の取扱説明書に従う。

**使用方法等に関連する使用上の注意**

- 適応機種以外の製品に取り付けて使用しないこと。
- スケーリングチップの装着は適応機種付属の専用レンチによって確実に本体に取り付けること。

- スケーリングチップ装着時に本製品を使用しない時は、必ずチップカバーを使用すること。
- スケーリングチップの脱落・破損による誤嚥などを防止するために、ラバーダム防湿法や治療中は患者に鼻呼吸をさせるといった対策を行うこと。
- スケーリングを行う際には必ず十分な水を併用し、スケーリング部位とスケーリングチップを冷却すること。
- 使用するスケーリングチップの種類や消耗の程度、パワー調整など使用環境によってはスケーリングチップの振幅が200μmを超える場合がある。
- スケーリングチップは下記の場合破損し易い状態になり、怪我などをまねく恐れがあるので速やかに新しいスケーリングチップと交換すること。
  - 刃先部がスケーリングによって消耗したスケーリングチップ
  - 腐食したり、錆が発生したスケーリングチップ
  - 落下などの衝撃を受けて変形したスケーリングチップ
  - 刃先部をシャープニング、改造、変形させたスケーリングチップ
- 使用するスケーリングチップの種類や消耗の程度など使用環境によっては大きな作動音の発生や、スケーリングチップの振幅が通常より大きくなる場合がある。
- 同じ箇所長時間、スケーリングチップを当てないこと。
- ポケットの長さを治療前に把握すること。
- 十分に注水を行うこと。
- ポケット内で振動を開始するときは、スケーリングチップをポケットに挿入し、ポケットの長さを確認してから行うこと。
- スケーリングチップを根面に当てる角度はなるべく歯軸に平行になるようにすること。

**【使用上の注意】**

**その他の注意**

- 使用前にアルコール清拭およびオートクレーブ滅菌を行うこと。
- スケーリングチップはあまり強く締め過ぎないように注意すること。

**【保管方法及び有効期間等】**

**保管方法**

- スケーリングチップは十分に乾燥させて保管すること。

**【保守・点検に係る事項】**

**使用者による保守点検事項**

- \* 1. 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。
- 2. スケーリングチップは必ず使用後取り外し、スリーウェイシリンジなどのエアによって乾燥させること。
- 3. 最高滅菌温度は摂氏135度のため、オートクレーブ滅菌器の設定は摂氏121度で20分、または摂氏132度で15分とすること。
- 4. 薬品が付着した器具とは一緒に滅菌器にかけないこと。
- 5. 消毒液の中にスケーリングチップをそのままつけないこと。
- 6. 消毒の際には、アルカリ性の消毒剤および酸化電位水(強酸性水、超酸性水)を使用しないこと。
- 7. 乾熱滅菌など、指定の最高滅菌温度を超える滅菌は高温のため、避けること。
- 8. 滅菌器の状態や滅菌方法によっては、スケーリングチップが変色する場合がある。
- 9. 滅菌終了後、スケーリングチップを十分に乾燥させること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

- \*\* \* 発売元**  
株式会社ヨシダ  
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9  
TEL 0800-170-5541 (ヨシダコンタクトセンター)  
03-6880-2155 (携帯電話からの場合)
- 製造販売元**  
株式会社ミクロン  
〒146-0082 東京都大田区池上2-17-7  
TEL 03-3755-0396 (代) FAX 03-5747-5396
- 製造元**  
株式会社ミクロン